

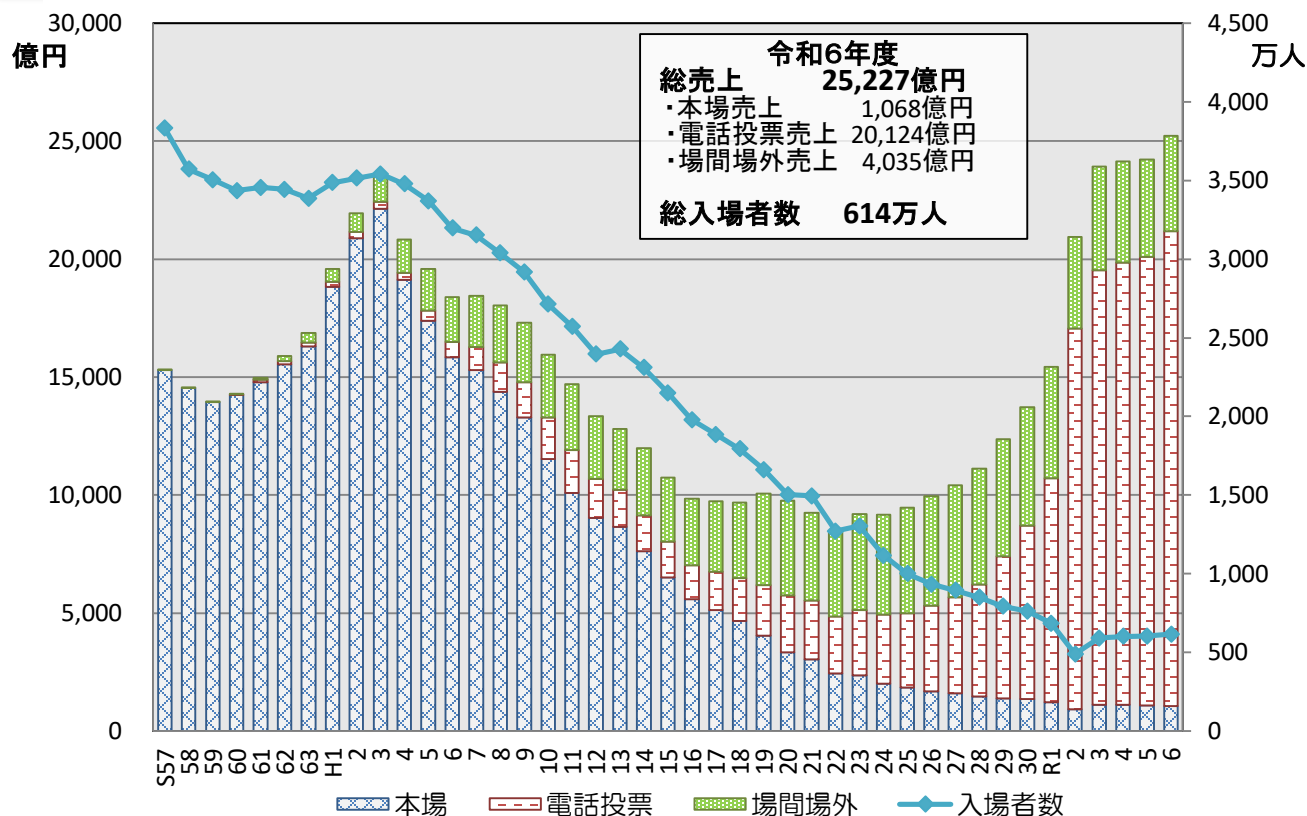
ボートレース業界及び
ボートレース福岡の現状について

令和7年8月7日
福岡市経済観光文化局
ボートレース事業部

1 ボートレース業界の現状について

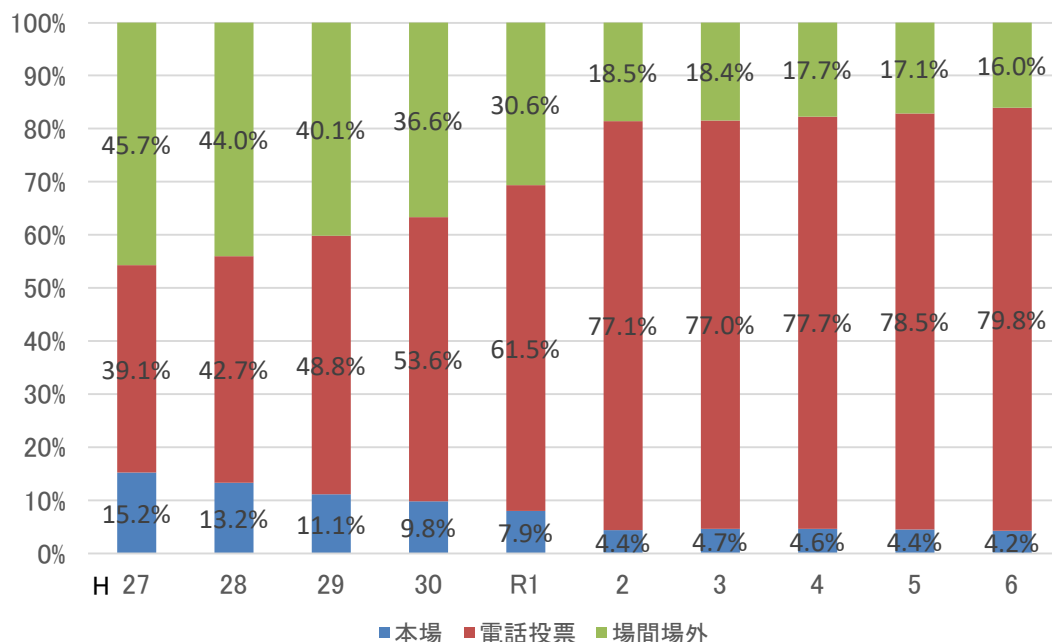
(1) 全国のボートレース場の総売上及び総入場者数の推移

- 業界全体の売上は近年大きく伸長し、令和6年度は2兆5,227億円で4年連続過去最高を更新
- 売上増加の背景には、電話・インターネット投票の利用拡大やBOAT RACE 振興会のプロモーション施策等の効果がある



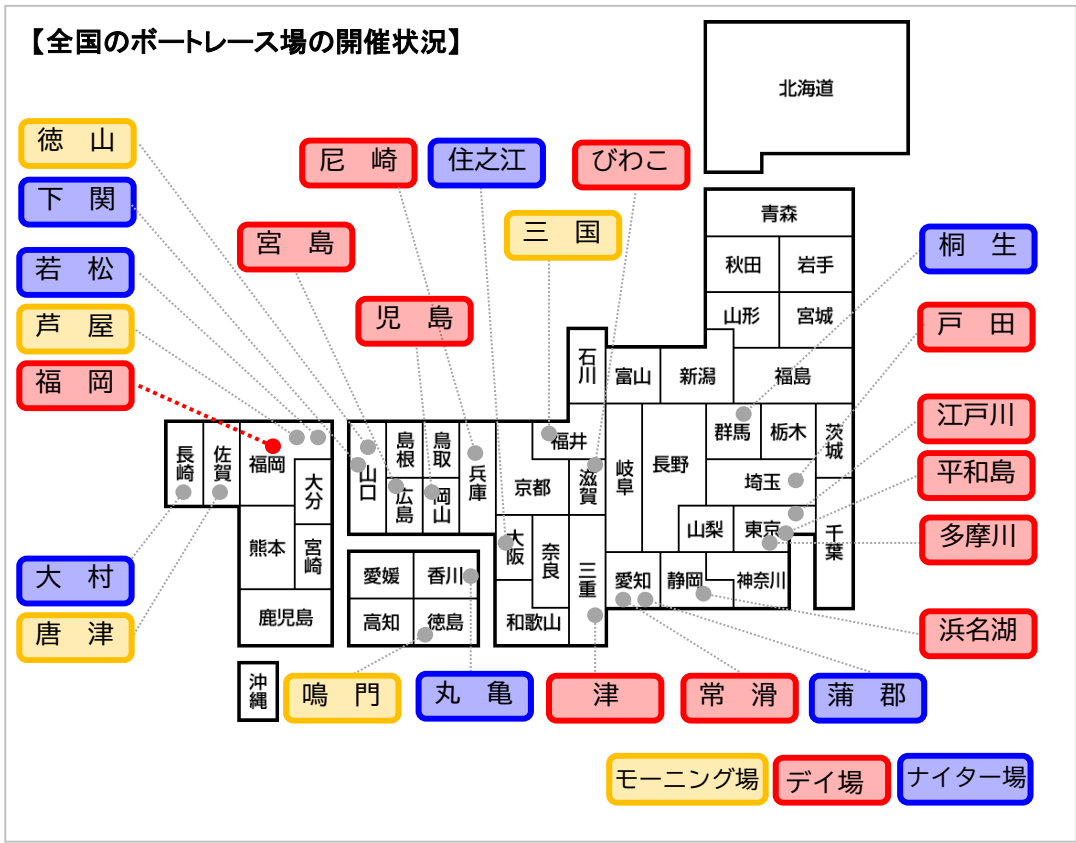
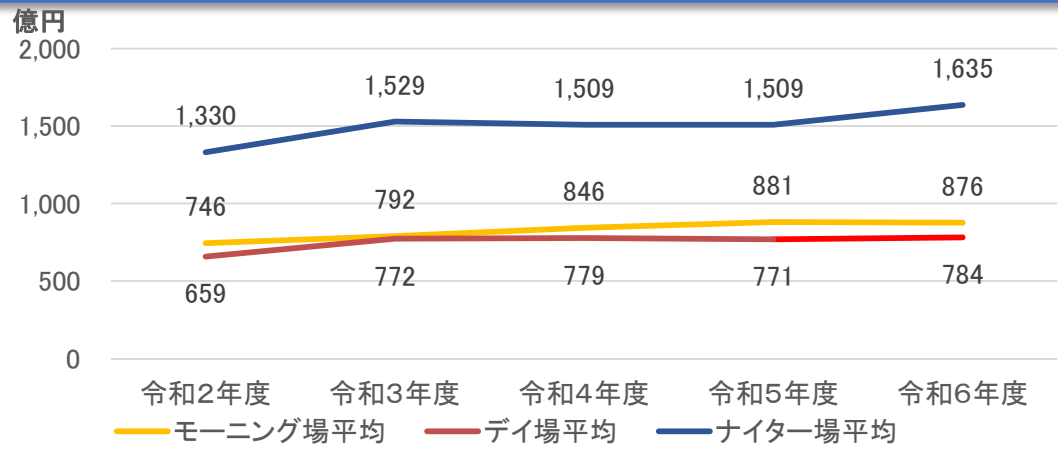
(2) 形態別売上構成比率推移(全国)

- 発売形態別では、電話・インターネット投票が全体の約8割、本場は約4%にとどまる



(3) モーニング・デイ・ナイター場別年間売上平均額推移(全国)

- 開催時間帯別の平均売上は「ナイター>モーニング>デイ」の順に多い
- 要因としては
 - ・ナイター(15時頃～20時頃まで)やモーニング(8時頃～14時頃まで)が、利用者の生活リズムに合った時間帯に開催されていること
 - ・ナイター場は7場、モーニング場は5場と、デイ場(12場)に比べて数が少ないことから、他場との発売時間の重なりが少なく、舟券購入者が集中しやすいことが考えられる。



【ボートレース場別の発売時間】

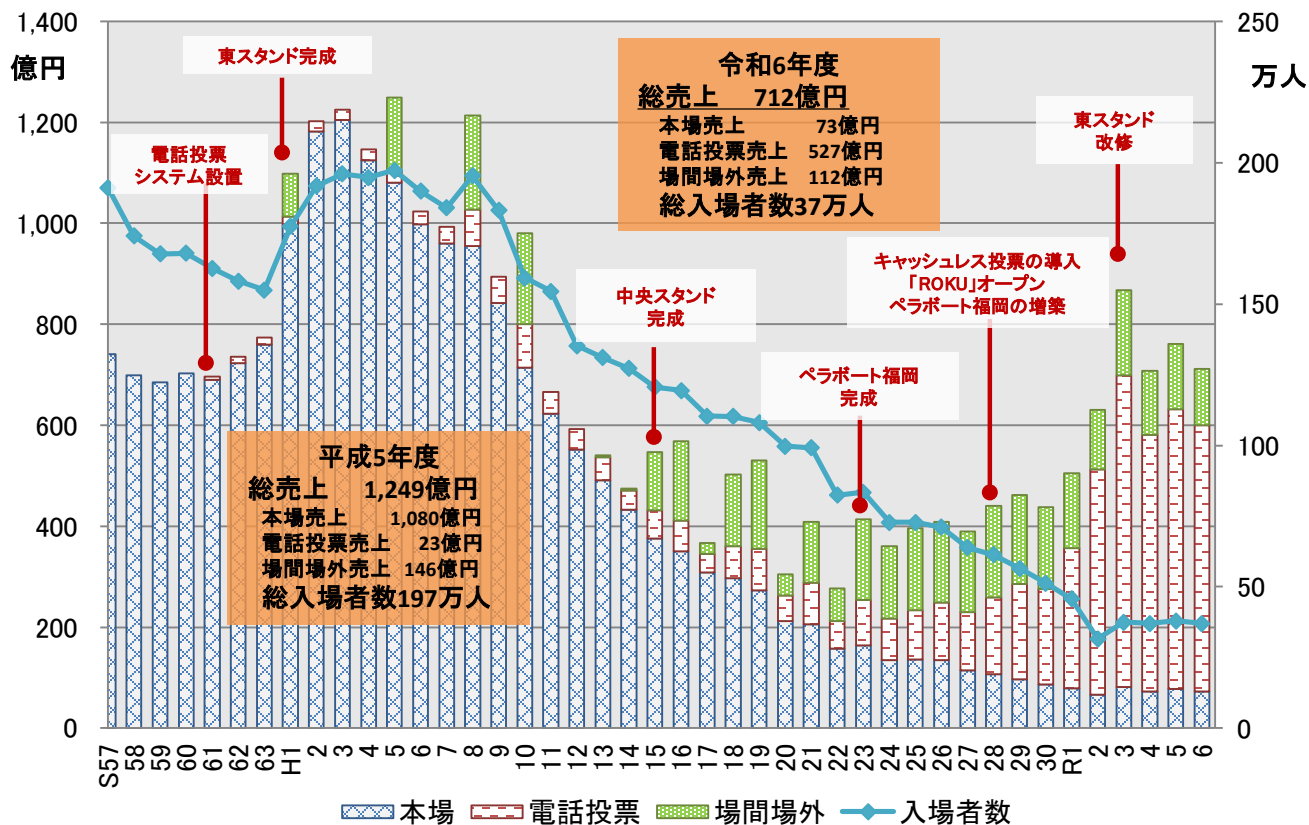
レース種類	レース場	開催時間の目安	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
モーニング	三国、鳴門、徳山、芦屋、唐津	8:15頃 ～14:30頃																
デイ	戸田、江戸川、平和島、多摩川、浜名湖、常滑、津、びわこ、尼崎、児島、浜名湖、福岡	10:15頃 ～16:50頃																
サマータイム(薄暮)	平和島、多摩川、浜名湖、福岡	概ね11:00以降 ～18:00頃																
ナイター	桐生、蒲郡、住之江、丸亀、下関、若松、大村	概ね15:00以降 ～20:50頃																
ミッドナイトレース(注)	下関、若松、大村	17:00以降 ～22:45頃																

(注) 試行中

■ 本場開催レース

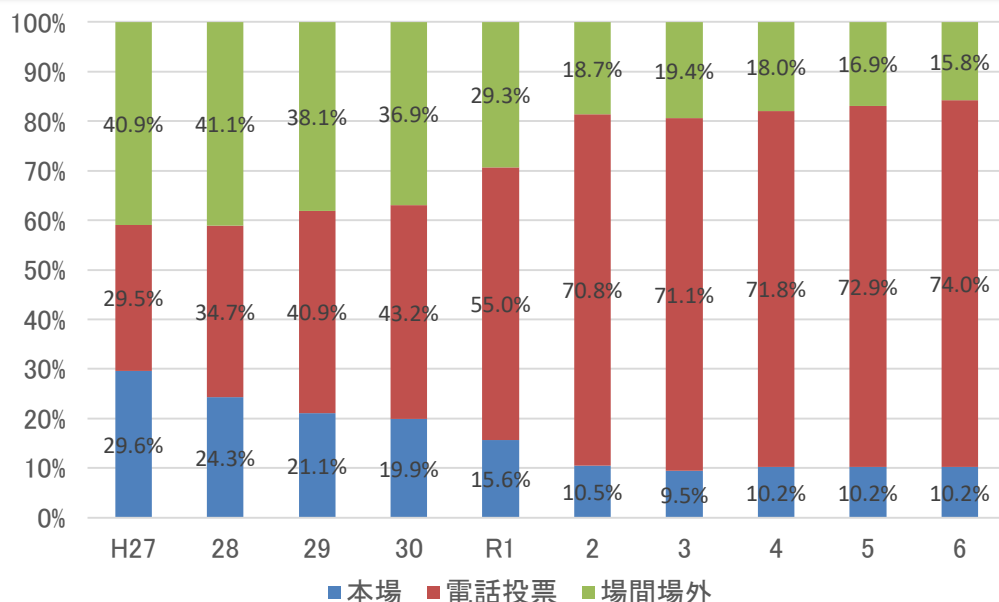
(1) ポートレース福岡の総売上上の推移（福岡都市圏広域行政事業組合の開催分を含む）

- 総売上は、平成5年度に1,249億円のピークを記録後、減少が続き、平成22年度には277億円まで落ち込んだが、その後は回復傾向に転じ、令和6年度には712億円となっている
- 入場者数は、平成5年度の197万人から令和6年度には37万人へと大幅に減少



(2) 形態別売上構成比率推移(福岡)

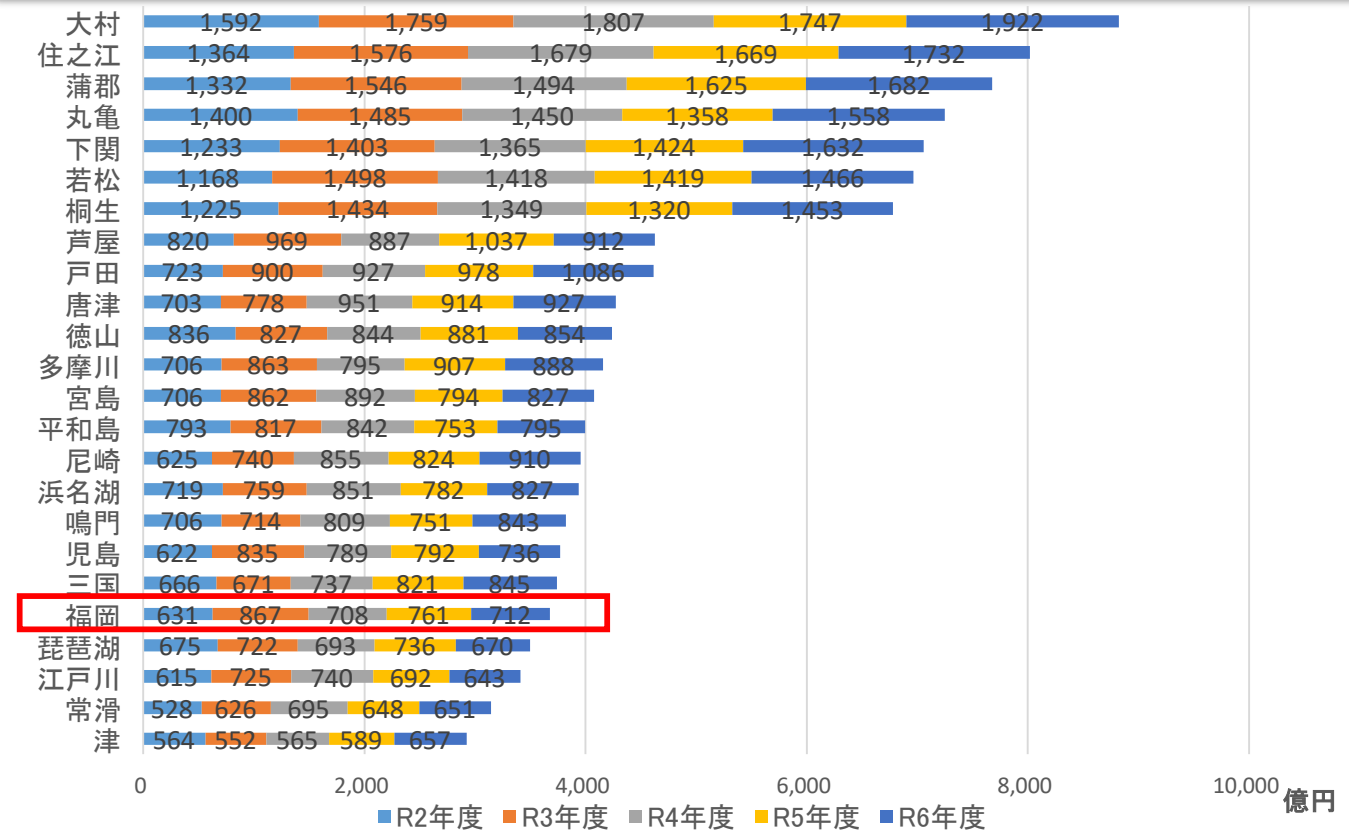
- 発売形態別では、電話・インターネット投票が全体の約74%
- 本場での売上は約10%にとどまるが、全国平均（約4%）と比べるとやや高い



■ 他場との比較

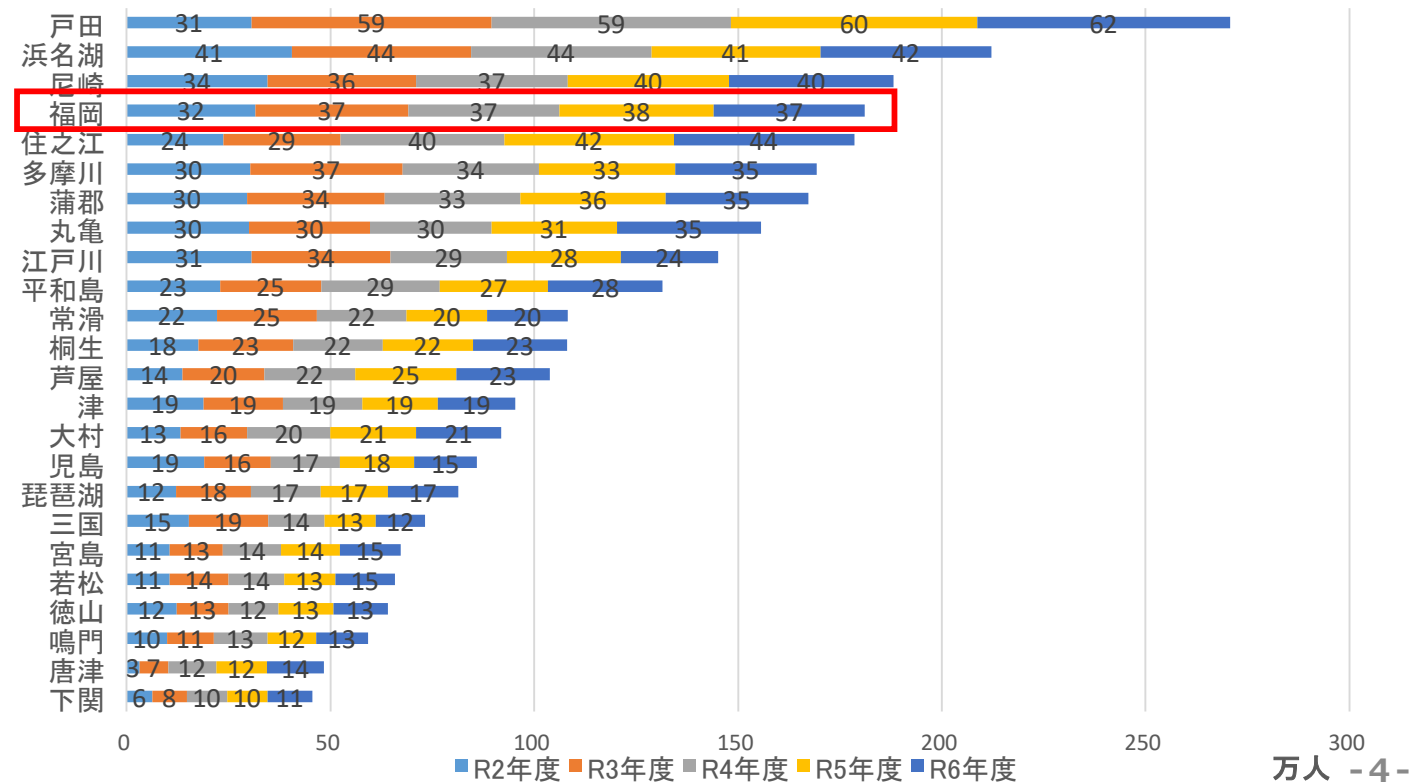
(1) 全場総売上額比較(令和2～6年度)

▶ ボートレース福岡開催レースの令和2～6年度の年間平均総売上は736億円で、全国24場中20位



(2) 全場入場者数比較(令和2～6年度)

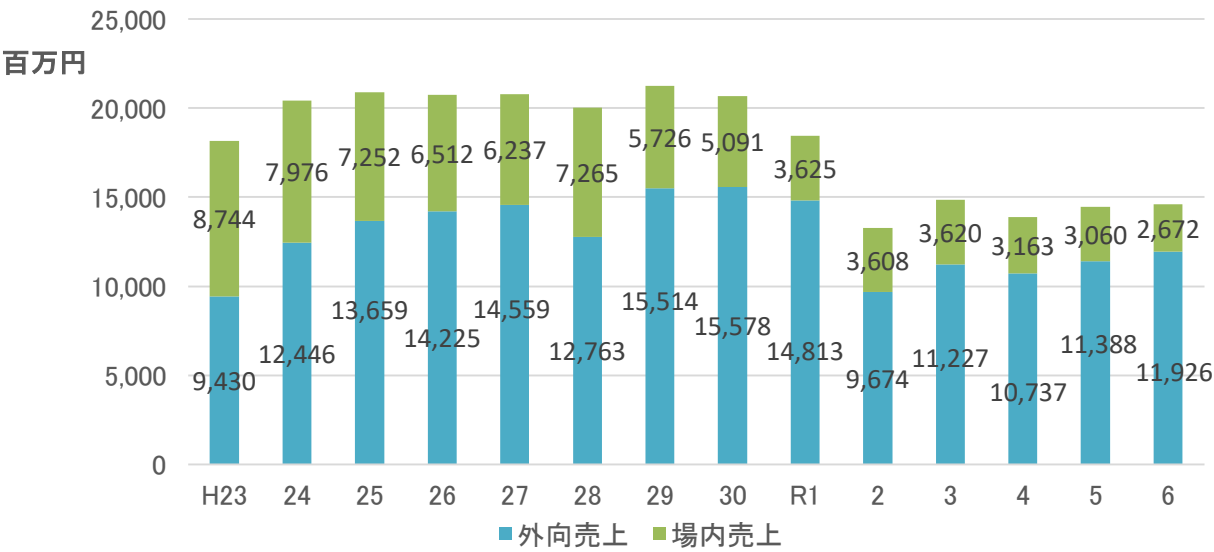
▶ ボートレース福岡開催レースの令和2～6年度の年間平均入場者数は約37万人で、全国24場中4位
→ 電話・インターネット投票が主流となる中でも、本場来場者の割合が比較的高い



■ 他場開催レースの発売事務受託

(1) 場間場外(受託)売上(令和6年度)

- 本場および外向発売所「ペラポート福岡」で受託発売している他場開催レースの売上は、平成23年度のペラポート開設以降、おおむね年間200億円規模で推移
- 新型コロナによる外出自粛の影響で令和2年度は大きく落ち込み、その後、徐々に回復傾向にあるものの、令和6年度も146億円にとどまる



(2) 敷地内上売上比較(令和2～6年度) ※上位10か所比較

- 敷地内（本場・外向発売所）で発売した舟券売上（敷地内売上）は、令和2～6年度の年間平均で216億円
- 全国のボートレース場（外向発売所含む）および場外発売場108か所中、福岡は敷地内売上が2位
- 敷地内売上の約8割は外向発売所「ペラポート福岡」によるものであり、高水準売上の大きな要因

